

第49回
岡大サイエンスカフェ



世界でも有数の「住み良いまち」とは —リヴァブル・シティの特徴と形成過程—

講師 岡山大学大学院社会文化科学研究科（文）
教授 北川 博史

近年、世界的にみて、都市に住む人の割合が増大しています。日本も例外ではなく、1980年の都市人口率は76.2%でしたが、2014年には93.0%にまで上昇しています。都市に暮らす、あるいは暮らさざるを得ない私たちにとって、住み良いまち(リヴァブル・シティ)をどのようにつくっていくのかが求められているように思います。世界の中で、リヴァブル・シティとして評価を得ている都市は、それほど多くはありません。また、リヴァブル・シティとして認知されている都市群の構成はここ数年にわたり変化していません。わが国の都市は、残念ながらこうした評価を受けていないのが実情です。そうした「住み良いまち」と認知されている都市は、なぜ、高評価を得ているのでしょうか。また、どのような特徴があり、どのようなまちづくりをしてきたのでしょうか。これまでの都市地理学の成果をふまえて、考えてみたいと思います。



参加者募集

- ◆開催日時
平成27年6月15日(月) 午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館 2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
TEL :086-251-7112 FAX :086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.net/renkei/contents/04_04.html
- ◆締め切り
平成27年6月11日(木) 午後5時
- ◆参加費
無料
- ◆問い合わせ先
研究推進産学官連携機構 村上・松田
TEL: 086-251-7112



本催しは岡山県生涯学習大学連携講座として登録されております
社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも